

ぼらっと

〔第3号〕

2009年11月26日



『ぼらっと』とは「ぶらりと」気軽に、「ボランティア」しましょう!!という造語です。

発行元

〒020-0541栗石町千刈田82-2

栗石町総合福祉センター内

栗石町社会福祉協議会ボランティア活動センター

電話/692-2230 F A X /691-1140

e-mail/shizukuiishi-VC@shi-sha.jp

ご存知ですか？

災害時、困っているあなたを助けてくれる人たちがいます!!

そして、

そのボランティアをコーディネートする人たちが必要なのです!!



氏一災ましデ実義す地氏 的しセー関て災にをまのにま社タンわ三
よ関地しさ才際をる元よ初なてン災係日害結被こうすボは大しセー養成講に座て開催さ福
り社へたををに頂目にりに日知活タ害づごにび災う。ラ県規た。タ講に座て開催さ福
一協救。改見起きを必災は識動一救くろ備つ地したテ外な災害の発集し
害東援まめてき、養要害、をすサ援りかえけのニボイか災害の発集し
の支動、気災水にた援起社びたーラ取顔地の域にも適イ
種部に突づ害害軽め助き協まめタのしーテ組見におに
類の行際かの時米にをたののーイむえおに
へ小つにさ恐の町と選時根た基ーイむえおに
水崎た被れるピで講別、田。礎とア

へらと勇あのセ し橋者れ受ラちテシ きれな現てた庫るで自経も渦支害
地うを気り復ン災た。渡とて付ン上イヨ二まるポ場の。のかは負験災中援・地
域こ認づ災興タ害。しボ全・テげアン週しとラが講。片ら水しが害越内援・地
と識け害のー救 のラて派イ、セで目たいンい義な付：害てあ救沖容震全ど
や。しるボ主と援 難ンを遣ア三ン災は。うテかは何と支つと活震のく
人②て存ラ役しボ しテ体調受グタ害、こイに現実作い業う援た少動の違
にあの動でテ被①ン をアし、にニ部ボユ 理入ででをあととは、ば行、う
つ土しあイ災被テ 学を、にニ部ボユ 理入ででをあととは、ば行、う
た地てるア者災イ び結被分一(をラレ 解り様被交たで異こかっ自。う
支 もこはで地ア まぶ災かズボ立ン け乱々災えっ倉なこりた分新と

でおのにも事→ とるーかと機ラの験たーと族にか の業スやを援をあ援
き互こら自。人普快時自？し会活声で事今のを、ら参役をは世担で分るを
るいとう分ま一段諾に分にセがきがま大守自地加割を常何帯つは担こ見
のに、このたがかし必要と活ボンあり良く人さ、のでか学探隙今りい、③め
で助何と→、いらて要家お動ラタリまか分任を地身生らびす間必、き公行る
すけかで顔地る地頂な族話しン！まか分任を地身生らびす間必、き公行る
！合あ災一域の域きこ、をてテよしつかせ学域をきはまこを要常れ政目
うつ害をのかにまと地しみイリたつにんを守りいーたのめサ被い復と必
こたは知皆をどした域たまア。°。たしだ守りいーたのめサ被い復と必
と時勿つさ知んた！を所せ団こ町。°。て。る、くこ。三る！災作興役要
がに論てんるな。守、ん体のボと体いーこ家時れ つ作ビ者業支割で

災害救援ボランティアセンター養成講座開催!

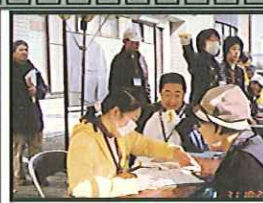
太字の部分は是非、ご覧下さい!!



県社協からの講義



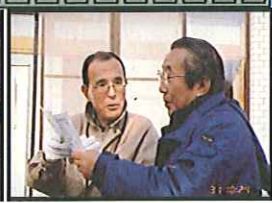
災害ボラセンのシミュレーションの様子



災害ボランティアの受付を体験中です!



派遣調整が一番難しかったようです。



真剣!! 県社協へ質問中です!



「未使用、書き損じの官製はがき」&「未使用の手紙はありますか？」



「空飛ぶ車いす」

「空飛ぶ車いす」とは、工業高校生ボランティアなどが学んだ技術を活用して、古い車いすを分解、整備、再生し、世界で車いすを必要としている人たちにプレゼントをするボランティアです。修理ボランティア校は、24都道府県に広がり、岩手県では盛岡工業高校など11校が参加しています。これまで世界19カ国の子どもや高齢者など3300人以上に車いすを贈りました。今年もスマトラ沖地震の被災地であるスリランカに220台を贈っています。現地で要請もあり、さらに100台の整備を完了しています。しかし輸送費など70万円が必要で、そこで「空飛ぶ車いす」を応援するため、はがき・切手収集にご協力下さい。



- ★収集対象★
 - ・未使用/書き損じ葉書/未使用切手
- ★収集期間★
 - ・年間を通して随時
- ★収集場所★
 - ・平石町総合福祉センター内
 - ボランティア活動センター



今回は先日結成されたばかりの『災害救援ボランティアサポーターの会』代表、細川仁さんです。

質問(以下●)：ボランティア(以下▽)を始めたきっかけは何ですか？

細川(以下●)：「歳をとった時、助けてもらわなければいけない状況になるので、今のうちに助ける側になっておきたかったっていうのがきっかけですね。」

●：災害救援Vを選んだわけは？

●：「年代相応に地域に関連できることはないかな、と考えましてね。」

●：今回、研修(表面参照)を受けてみてどう思いましたか？

●：「どんな地域でも必要性のあるものだと思っただね。平石の場合、岩手山が噴火したら、被害が出る可能性もあるわけだし。常日頃から準備しておくことが大切だと痛感しましたね。」

●：V団体を立ち上げ、代表となっただけですが今後の抱負は？

●：「まず会員を増やしたいですね。できれば各行政区から最低一人ずつ参加してほしいです。それから他地域に行つて、見て・学んで」



知識を深めて実践力をつけたい。実践力をつけて、沿岸の災害救援Vと連携をとり、沿岸で被害が起きたら助けに行き、平石で起きたら助けてもらう。そんな関係も築いていけたらいいと思っています。」

●：最後に何か一言お願いします！

●：「ホントは年齢的に救助されたいほうなだけだね(笑)。」

●：ええ、始まったばかりですよ(焦) ●：「冗談だよ(笑)。災害救援Vをすると同時に学ぶ。そういう機会(災害)がないにこしたことはないけどね。」

本当にそうですね。備えあれば憂いなし。頼もしいV団体の始まりに期待します。



ボラ連

10月定例会 いきいき福祉まつりの反省よ!

★ステージ発表★

天瀬さんさ・少年少女合唱団・一輪車・平高郷土芸能・YUTAKA/CHIYUKI など今年は子どもや若者たちの参加が多く、日頃の練習に裏付けられた素晴らしいステージでした。また、童謡の滴・かし和の郷・うぐいすの会の合唱が初めて参加し、一生懸命発表してこちらも素晴らしいステージでした。

★中・高校生ボランティア活動★

司会進行係・スタンプラリー係・つくって遊ぼう係・出店・ぬいぐるみ係を担当してもらいました。ボラ連スタッフとの連携もよく、若者らしい発想で「どうしたら人を喜ばせる事ができるか」というボランティア精神で行動していて、とても頼もしく感じられました。

ボラ連のあつたあつた



スノーバスターズ隊員募集中!

冬季間、一人暮らし老人や夫婦老人世帯等の自宅の雪かきをして下さる方を募集しています。お年寄りの方々にとって、除雪は大変な作業のひとつです。そんな時、気軽に手伝ってくれる人がいると有難いものです。皆さんの時間を地域のために活かしてみませんか？

★担当: 澤口・成田★

編集後記

今年も残り一ヶ月、ちよつととなりました。思い残す事はありますか?!